

製品安全データシート

整理番号 nagasaki-bb-75
作成 2017年8月

1. 製品及び会社情報

製品名 果樹用液肥青
会社名 全国農業協同組合連合会 肥料農薬部
住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
TEL 03-6271-8285
FAX 03-5218-2536
E-mail zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp

推奨用途及び使用上の制限 肥料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

| | |
|-----------|-----|
| 可燃性固体 | 区分外 |
| 自己反応性化学品 | 区分外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 区分外 |
| 水反応可燃性化学品 | 区分外 |
| 酸化性固体 | 区分外 |
| 金属腐食物質 | 区分外 |

健康に対する有害性

| | |
|------------------|------------|
| 急性毒性(経口) | 区分4 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分2B |
| 異変原性(生殖細胞変異原性) | 区分2 |
| 発がん性 | 区分2 |
| 特定標的臓器/全身毒性—単回暴露 | 区分3(気道刺激性) |
| 特定標的臓器/全身毒性—反復暴露 | 区分2 |
| 水生環境有害性(魚・急性) | 区分外 |
| 水生環境有害性(藻類・急性) | 区分3 |

上記で記載がない危険有害性については、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語

警告

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害のおそれ
- ・眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ
- ・水生生物に有害

注意書き

個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉塵、ヒュームを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
(必要なとき以外は)環境への放出を避けること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合:水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
ばく露又はその懸念がある場合:医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
漏出物は回収すること。
容器を密閉して冷暗所で施錠して保管すること。
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

| | |
|--------------------|------------------------|
| 化学物質・混合物の区別 | 混合物 |
| 化学名又は一般名 | モリブデン及びその化合物 |
| 成分及び含有量 | 窒素全量 6% (成分表示は保証成分に限る) |
| | 水溶性りん酸 6% |
| | 水溶性加里 4% |
| | 水溶性苦土 1% |
| | 水溶性マンガ 1.00% |
| | 水溶性ほう素 0.50% |
| 濃度又は濃度範囲(含有量) | MoO3 0.24%以上 |
| CAS番号 | 12054-85-2 |
| 官報公示整理番号(化審法・安衛法) | 1-389 |
| 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 | 情報なし |

4. 応急措置

| | |
|-------------|---|
| 吸入した場合 | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師の手当て、診断を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 流水やシャワーで洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。 |
| 目に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後なるべく早く医師の手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 速やかにうがいをし、必要に応じて医師の手当て、診断を受けること。 |
| 最も重要な徴候及び症状 | 咳、咽頭痛、眼の刺激、腹痛、吐き気、嘔吐 |

5. 火災時の措置

| | |
|------------|--|
| 消火剤 | 水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、乾燥砂など、すべての消火剤の使用が可能である。 |
| 特有の危険有害性 | 当該製品は加熱すると分解し、200℃程度以上でNH3ガスを発生する。 |
| 特有の消火方法 | 消火作業は風上から行なう。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 |
| 消火を行なう者の保護 | 消火作業の際は、空気呼吸器を含め完全な防護服を着用する。 |

| | |
|--|---|
| <p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法 ・機材 二次災害の防止策</p> | <p>作業の際には適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸入を防ぐ。 関係者の立ち入りを禁止する。 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。</p> <p>関係箇所に通報し、応援を求める。</p> |
| <p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い 技術的対策</p> <p>局所排気・全体換気等</p> <p>注意事項 安全取扱い注意事項</p> <p>保管 技術的対策 適切な保管条件 安全な容器包装材料</p> | <p>に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。 作業場の換気を充分に行う。適切な保護具を着用する。</p> <p>一般化学品と同様。 冷暗所で密閉して保管する。防湿に留意する。 ポリエチレン</p> |
| <p>8. 暴露防止及び保護措置</p> <p>管理濃度 許容濃度</p> <p>設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具 適切な衛生対策</p> | <p>設定されていない ACGIH(2005年版) TLV-TWA 0.5mg/m³(水溶性化合物:Moとして)⁵⁾ 密閉された装置、機器又は局所排気装置の使用が望ましい。</p> <p>防塵マスク 防護手袋 防塵用保護眼鏡 保護服、保護長靴 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> |
| <p>9. 物理的及び化学的性質</p> <p>形状 臭い pH 融点／凝固点 沸点、初留点と沸騰範囲 引火点 自然発火温度(発火点) 燃焼性(固体、ガス) 燃焼又は爆発範囲の上限／下 蒸気圧 蒸気濃度 比重(相対密度) 溶解性 オクタノール／水分配係数 分解温度</p> | <p>液状 無臭 6.40(500倍希釈液) データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし 1.25 水によく溶ける データなし データなし</p> |
| <p>10. 安定性及び反応性</p> <p>安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物</p> | <p>通常の使用においては安定である。 情報なし 日光、熱 情報なし 加熱するとアンモニアガスを発生する。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>11. 有害性情報</p> <p>急性毒性 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な 損傷/刺激性 呼吸器感作性 /皮膚感作性 変異原性 (生殖細胞変異原性)</p> <p>発がん性 生殖毒性 特定標的臓器/全身毒性 単一暴露</p> <p>反復暴露</p> <p>吸引性呼吸器有害性</p> | <p>経口(ラット) LD50 333mg/kg⁵⁾ 情報なし 曝露時に結膜に刺激が認められる報告あり。⁶⁾</p> <p>情報なし</p> <p>in vitro 大腸菌による復帰突然変異試験2.3 μg/mlS9(-) が陽性、枯草菌によるDNA修復試験58 μg/mlが陽性⁶⁾ ACGIH(2005)において水溶性Mo化合物がA3である。⁵⁾ 情報なし</p> <p>曝露時に呼吸器と結膜に刺激が認められる。実験動物では 水溶性のMo化合物を吸入暴露すると呼吸器と結膜への刺激 がある。⁶⁾ 実験動物では連続吸入曝露実験で顕著な体重増加抑制と肺 の血腫が見られる。反復経口投与により、骨、関節の変形、 被毛の退色が見られる。⁶⁾ 情報なし</p> |
| <p>12. 環境影響情報</p> <p>生態毒性 魚 その他(甲殻類、藻類) 残留性/分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 他の有害影響</p> | <p>ヒメダカ LC50(96hr)=373mg/L⁷⁾ セネデスマス EC50(12-d)=3.7mg/L: 増殖阻害 情報なし 情報なし 情報なし なし</p> |
| <p>13. 廃棄上の注意</p> | <p>内容物、容器を廃棄する場合は関連法令および地方自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を委託する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に 委託すること。処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託すること。</p> |
| <p>14. 輸送上の注意</p> <p>国際規制 国連分類 国際番号 国内規制 輸送の特定の 安全対策及び条件</p> | <p>非該当 非該当 非該当 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転 倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行なう。</p> |
| <p>15. 適用法令</p> <p>PRTR法 労働安全衛生法 水質汚濁防止法</p> | <p>第2条第1種指定化学物質 1-453 モリブデン及びその化合物 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(モリブデ ン及びその化合物) 指定物質 モリブデン及びその化合物 有害物質 アンモニア</p> |

16. その他の情報

引用文献

- | | |
|---|------------------|
| 1) 化学大辞典 | 共立出版株式会社 |
| 2) 14906の化学商品 | 化学工業日報社 |
| 3) 産業中毒便覧 | 医薬出版株式会社 |
| 4) 環境科学辞典 | 東京化学同人 |
| 5) ACGIH化学物質と物理因子のTLVs & 化学物質のBEIs (2008年度版) | (社)日本作業環境測定協会 |
| 6) 化学物質安全性(ハザード)評価シート(2001) | 化学物質評価研究機構(CERI) |
| 7) 既存化学物質安全性点検データ | 化学物質評価研究機構(CERI) |

(免責事項)

- ・この安全データシート(SDS)は、発行時の弊社が知りうる最新情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があります。
- ・この安全データシート(SDS)は、製品に対する通常の取り扱いを対象としたものであり、他の化学品と組み合わせる使用方法等、特殊な取り扱いの場合には、その使用条件に適した安全対策を実施のうえ、製品の取り扱いをお願いします。
- ・この安全データシート(SDS)は、情報提供を目的としており、いかなる保証をするものでもなく、当該情報の使用により生じた損害について、一切責任を負いません。

本SDSは、下記くみあい肥料株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください

| | |
|-------|----------------|
| 会社名 | くみあい肥料株式会社 |
| 住所 | 長崎県諫早市栄田町8番23号 |
| 電話番号 | 0957-26-3122 |
| 緊急連絡先 | 0957-26-3122 |
| FAX番号 | 0957-26-4290 |